

2020年2月1日

中国日本商会 会員各位
関係各位

日中経済協会北京事務所
中国日本商会

新型コロナウイルスに関する緊急アンケート結果のご報告

新型コロナウイルスの感染拡大に対する北京市内の日系企業の事業所の対応状況について、日中経済協会北京事務所と中国日本商会の共同で緊急調査を実施いたしました。皆様、時々刻々状況は変わっている中、対応に苦慮されていることと思います。その中での参考にしていただくべく、敢えて締め切りを短くさせていただきましたが、多数のご回答大変ありがとうございました。今後の対策上の参考にしていただけますと幸いです。

調査概要

○ 実施期間：2020年1月31日（金）17:30～2月1日（土）17:00（約1日）

○ 案内先：中国日本商会 市内法人会員 539社

○ 有効回答：82件（同一企業からの重複回答なし）

※このうち、北京市政府が31日20:00頃に「2月9日までの企業の柔軟な業務手配¹」を通知する前の回答36件、通知した後の回答46件

○ 回答業種の内訳：

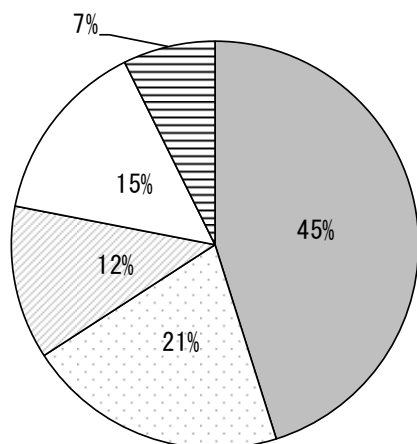
中国日本商会における所属部会・分科会名	略称	回答数	比率%
商社	商 社	7	8.5
工業1(重工業、プラント、建設、エネルギー、自動車等製造業)	工 1	12	14.6
工業2(電機、電子、IT〔ソフトウェア含む〕等製造業)	工 2	18	22.0
工業3(化学G)	工 3 化学	3	3.7
工業3(LSG・医薬品)	工 3 医薬	4	4.9
工業3(LSG・医療機器)	工 3 医機	3	3.7
工業3(LSG・化粧品)	工 3 化粧	1	1.2
工業3(その他)	工 3 其他	4	4.9
金融(銀行、証券、損保、生保、政府系金融)	金 融	6	7.3
運輸・サービス(運輸、倉庫業)	運 輸	5	6.1
運輸・サービス(流通業、サービス業)	サービ	17	20.7
団体	団 体	2	2.4
		82	100.0

¹ http://www.beijing.gov.cn/zhengce/zhengcefagui/202001/t20200131_1622070.html

集計結果

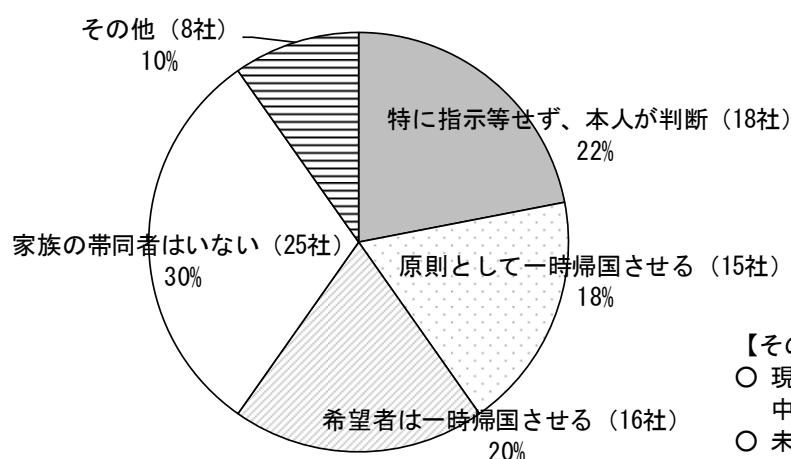
設問1 駐在員及び家族の扱い

1-(1) 駐在員の現時点での扱い（択一）



- 全員が引き続き駐在し、現時点では帰国するなどの予定はない（37社）
- 一部は引き続き駐在し、その他は一時帰国する（あるいは、一部は既に休暇帰国中であり、しばらく北京に戻らないこととしている）（17社）
- 全員、一時帰国する（あるいは、全員既に休暇帰国中であり、しばらく北京に戻らないこととしている）（10社）
- もともと駐在員はいない（現地社員で運営）（12社）
- その他（6社）

1-(2) 駐在員の家族の現時点での扱い（択一）

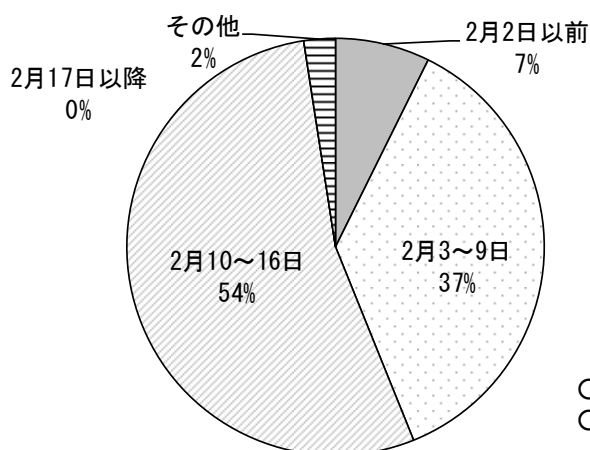


【その他コメント】

- 現在春節休暇で帰国している家族は、中国入りを見合わせる
- 未定・検討中（1社）

設問2 事業所のオペレーション

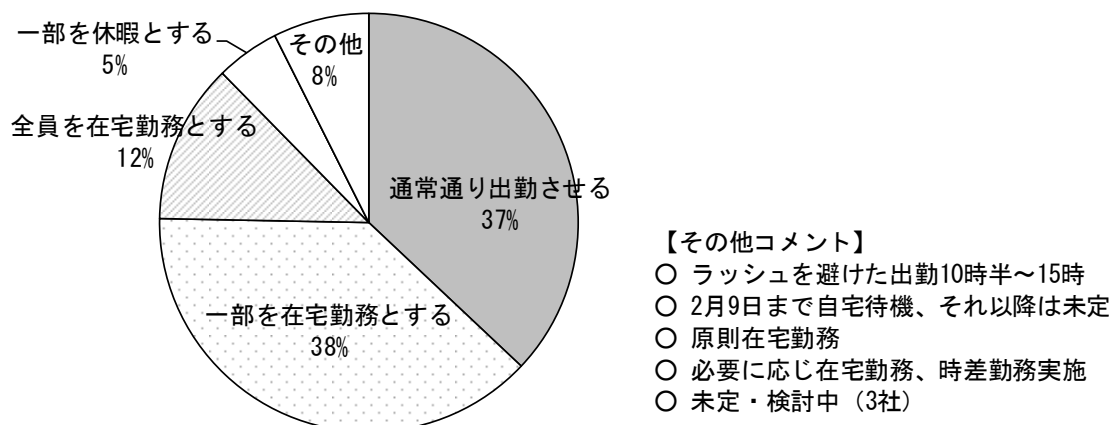
2-(1) 事業再開の時期（択一）



【その他コメント】

- 適宜稼働（1社）
- 未定・検討中（1社）

2-(2) 事業再開にあたっての出勤体制（択一）



● 出勤体制に関するコメント ※所属部会略称は1ページ参照

- ✓ 【商社】国内出張や春節期間中の帰省、旅行等で長距離移動した者、感染可能性のある行動・移動を行なった者は北京に戻ってから2週間は業務再開後も出勤停止し、自主隔離、健康確認を行わせる。春節期間に一時帰国している駐在員の任地への戻りを停止している。業務再開に合わせて戻る予定。
- ✓ 【商社】天津駐在中も春節一時帰国中。2月2日に帰国予定も1月30日付けで天津市某区より外地よりの帰津者への隔離推奨通知が発表され、帰津しても会社に行けないため帰国を一週間延期。今後は発表により都度本社と会話しつつ対応を検討する。
- ✓ 【工1】会社業務の開始は、まずは、2月3日までの中国政府の発表待ち（現地社員含）。
- ✓ 【工1】北京オフィスは、2月3日～7日は全員在宅勤務（最低限の業務対応）としたうえで、日本帰国中の駐在員は2月9日に帰国し、2月10日から事務所を正式に再開（ただし、業務整理を行い、在宅勤務者と出社勤務者を区分して以後の出社人数を絞る）。
- ✓ 【工1】本社指示の（上海と同じ）2月9日までの休暇の同日以降の北京戻りについて2月6日までに対応を決めるとしている。北京戻り日が更に延長されるかもしれない。
- ✓ 【工3化粧品】武漢を除き、中国各地の拠点は2月10日業務開始で取引先等と調整中。
- ✓ 【金融】2月3日からの週は、業務を限定しての営業を予定。
- ✓ 【サービス】全従業員に2月3日から2月7日までは在宅勤務を手配、2月10日より出社としている。

設問3 その他の対応（複数選択可）



● 出勤対策・安全対策に関するコメント

- ✓ 【工1】 現地社員の遠方通勤者は、感染を避けるため、在宅勤務を検討中。
- ✓ 【工1】 駐在員だけでなく出社を要する現地社員に対しても配車手配。出社時検温実施。
- ✓ 【工1】 ナショナルスタッフは原則として在宅勤務だが、当番で1名が会社に出勤。当番の通勤には公共交通機関を使用せず、社有車で送迎。また、週末までに翌週の勤務形態を決め、ナショナルスタッフに通知することになっている。
- ✓ 【工1】 まずは、自社社員への感染予防を重視した対応する。①在宅勤務の指示、②マスクの日本からの調達・支給、消毒剤設置、うがい・手洗い剤の支給、③止む無く出勤する場合は、公的交通手段は使用せず、社有車を使用する。
- ✓ 【工3】 毎日体温検査。本部へ毎日全社員の健康状態を報告。
- ✓ 【工3 化学】 春節中に発熱した者、湖北省など感染区域の人と接触があった人、病院に行った者は、現地社員・駐在員を問わず出社禁止。14日の経過観察期間自宅待機。
- ✓ 【工3 化粧】 感染防止の観点から、居住社区に感染者が出た場合の出社自粛について社内ルールを制定した。
- ✓ 【サービス】 毎日検温を実施。報告させ記録する。家族の健康状態も含め、状況報告させ、記録する。

● マスク・消毒液等の手配

- ✓ 【サービス】 マスク、消毒液等の一般販売用在庫が品切れしている。メーカーは生産を開始しているが、小売販売用には出荷されない見通し。社会インフラとして店舗を営業継続していくためには、従業員用の防護用品も必要であり、事態の終息が長引き、安全確保に問題が生じないか懸念される。
- ✓ 【工2】 マスク・消毒液等、衛生品の調達が難しくなっているとの認識。日本からの物資の輸送にも時間がかかりそう。
- ✓ 【団体】 市内の薬局等でも消毒用アルコールが入手できなくなっており困っている。マスクは当面事務所内に在庫あり。

● 出張関係

- ✓ 【工2】 国内出張、海外出張原則禁止。
- ✓ 【団体】 当面の事業実施は延期ないしは中止。国内出張は取りやめ。

設問4 ビジネス全般への影響（自由記述・任意回答）

- ✓ 【商社】 2月3日から再開される銀行業務に合わせ、入金、出金の必要対応を行う最小限の体制を検討している。
- ✓ 【商社】 春節明けに予定していた国内出張やビジネスイベント等は2月中旬頃までは全てキャンセルしている。
- ✓ 【商社】 現時点で工場から品物の運びと港よりの出港が影響ある。
- ✓ 【商社】 国内の企業活動が、平時と異なり滞る可能性あること。特に、中国国内、中国

発着、中国経由の物流活動に注目して、今後ビジネス全般への影響を見極める。

- ✓ 【商社】出張ができず、業務に影響あり。
- ✓ 【商社】情報を収集中。
- ✓ 【商社】中国への輸出業務があり、上海港での港務関係の影響を確認中。
- ✓ 【工 1】中国での業務再開時期については、一部地域を除き、2月3~7日を在宅勤務とし、2月10日に本格再開予定だが、感染動向、当局・本社・取引先の方針に左右される部分が多く、いまだ流動的な面がある。
- ✓ 【工 1】マスク等の一部物資はもはや日本でも調達が難しくなっている。品薄はいずれ解消されると思われるが、それまではこれら防疫用品の装着・完備を要求されている地区での操業に影響が出る可能性がある。
- ✓ 【工 1】①従業員がいつどの程度戻ってくるのか、②物流と部品の供給と出荷がどうなるか、③そもそも出荷してもどの程度販売できるか、など不透明なことが多いため、課題を一つ一つ解決していくこととなり、正常化するのに時間がかかると思われる。
- ✓ 【工 1】日本からのスーパーバイザ派遣の延期（契約納期遅れとの判断回避への対応）。
- ✓ 【工 1】契約交渉中の商談の中止、延期及び納期短縮への影響を懸念。
- ✓ 【工 1】現時点は不明確。
- ✓ 【工 2】サプライチェーンへの人的、物的影響が想定されるが、現時点で見通すことができない。中国内の景気減速マインド、中国物資に対する風評被害も懸念。
- ✓ 【工 2】中国新年度の全国代理店会等、人を集めるイベント開催再開時期の判断が困難。
- ✓ 【工 2】一部医用関連は武漢支援もあるため、稼働中。それ以外の工場はすべて2月9日まで停止であるが、状況次第。
- ✓ 【工 2】ビジネス影響大。現況を考えると2月10日以降通常営業できるか不明。日本との取引も多く納期調整必要。見通しの立たない中、今後どれくらい受注もらえるか不明。
- ✓ 【工 2】現状は大きな影響は見えていないが、客先との日本出張取りやめ等あり、長期的には影響が出る見込み。
- ✓ 【工 2】地域により政策指令がバラバラであり、現在精査中。
- ✓ 【工 2】武漢の顧客対応に出張などが難しく影響。
- ✓ 【工 2】北京では大きな影響ないが、本社向け業績報告の時期と重なるため、一部社員の出勤等を検討中。
- ✓ 【工 3 医薬】不明。
- ✓ 【工 3 医機】おそらく影響あると予測している。
- ✓ 【工 3 医機】春節休みが完全に明けてからの物流に不安あり。省都までの物流は何とかなるかもしれないが、それより下流の病院に対しては今の所様子見。
- ✓ 【運輸】延長された春節期間中であっても緊急輸入物資などの業務にはシフト勤務で対応。事態終息後もSCMの変化が予想され、しばらくは物流の停滞は必至。
- ✓ 【運輸】北京・天津での通関は可能のようであるが、両（空）港をゲートウェイとする遠方への輸送の計画が立たない。
- ✓ 【サービス】20年の事業計画、出版計画の修正。

- ✓ 【サービス】イベントは、2月においては中国国内で開催予定のイベントがほぼ全て中止。3月も「两会」があるため、例年イベント数は少ない。
- ✓ 【サービス】顧客の動きに応じて対応。
- ✓ 【サービス】サービスの受け皿体制が整わない。
- ✓ 【サービス】超低稼働となり、先行きが見えない状態での営業継続は困難を極める。
- ✓ 【サービス】顧客企業と連携して業務の緊急度や優先順位などを勘案しつつ、臨機応変に対応する必要がある。
- ✓ 【サービス】現在本社指示により、2月29日まで中国への観光ツアーは全キャンセル。
- ✓ 【サービス】旅行会社は、当面の間、中国国内・訪中・訪日とも多大な影響を受けることは避けられない。

設問5 通信欄（自由記述・任意回答）

● 今後の課題・要望

- ✓ 【商社】各種情報に出てくる「14日ルール」の具体的な運用がどうなるのか不明瞭なところがあり（日本から北京に戻って来た人の扱いはどうなるのか等）ガイドライン的な情報があるとありがたい。
- ✓ 【工1】必要な情報として、北京市は春節明けに伴い、帰省者が多数戻ってくると認識しており、これにより市内の生活物資や公共交通の状況がどうなるか。特に生活物資。また、感染症指定に伴い、今後、日本から北京への出国者や、北京から日本への帰国者に対する検疫を含めた空港の管理体制に変化はあるのか（留意すべきことはあるのか）。
- ✓ 【工2】春節休暇延長2日分の振替稼働は国家で指定してくるか。北京市2月7日までの休業推奨に対し、在宅勤務における給与歩合はどうなるか。
- ✓ 【工2】WHO緊急事態宣言、日本の指定感染症化に伴う運輸面の規制動向予測を知りたい。
- ✓ 【工2】北京で感染が拡大した場合、駐在員の帰国判断の主体は現法か、それとも日本の親会社か、他社の状況を知りたい。
- ✓ 【工2】春節を日本で過ごした駐在員の春節明けの北京戻りに関し他社状況を知りたい。
- ✓ 【運輸】天津地区で2月9日までの自粛休業延長と、期限前の稼働につき個別申請と許可後の稼働という手続きが必要である旨通知を受けたものの、同じ天津地区でも足並みが（1月31日時点）揃っておらず、申請窓口も不明瞭で対応に支障あり。

● その他コメント

- ✓ 【工1】状況は日々変化していると認識。
- ✓ 【工2】各社の対応等集計できましたらフィードバックいただけるとありがたい。
- ✓ 【運輸】各企業の駐在員、その家族の扱い（滞留なのか帰国指示なのか）を共有いただき参考としたい。
- ✓ 【サービス】緊急アンケート感謝。日本本社に北京日系企業の動向報告ツールとしたい。
- ✓ 【団体】会員企業の現地法人の対応方針を参考に、対応を考えたい。

以上

[付録] 設問一覧

1. 駐在員及び家族の扱い

(1) 駐在員の現時点での扱い (択一)

- 全員が引き続き駐在し、現時点では帰国するなどの予定はない
- 一部は引き続き駐在し、その他は一時帰国する (あるいは、一部は既に休暇帰国中であり、しばらく北京に戻らないこととしている)
- 全員、一時帰国する (あるいは、全員既に休暇帰国中であり、しばらく北京に戻らないこととしている)
- もともと駐在員はいない (現地社員で運営)
- その他 []

(2) 駐在員の家族の現時点での扱い (択一)

- 特に指示等せず、本人が判断
- 原則として一時帰国させる
- 希望者は一時帰国させる
- 家族の帯同者はいない
- その他 []

2. 事業所のオペレーション

(1) 事業再開の時期 (択一)

- 2月2日以前
- 2月3~9日
- 2月10~16日
- 2月17日以降
- その他 []

(2) 事業再開にあたっての出勤体制 (択一)

- 通常通り出勤させる
- 一部を在宅勤務とする
- 全員を在宅勤務とする
- 一部を休暇とする
- その他 []

3. その他の対応 (複数選択可)

- 国内出張を控える
- 時差出勤を認める
- マスクを支給
- 消毒液等を設置
- その他

4. ビジネス全般への影響 (自由記述・任意回答)

5. 通信欄 (自由記述・任意回答)

6. 回答者情報

社名・団体名

所属・役職

ご芳名

メール

所属部会・分科会 (択一)

- 商社
- 工業1 (重工業、プラント、建設、エネルギー、自動車等製造業)
- 工業2 (電機、電子、IT [ソフトウェア含む] 等製造業)
- 工業3 (化学G)
- 工業3 (LSG・医薬品)
- 工業3 (LSG・医療機器)
- 工業3 (LSG・化粧品)
- 工業3 (その他)
- 金融
- 運輸・サービス (運輸、倉庫業)
- 運輸・サービス (流通業、サービス業)
- 団体

○ 本件お問い合わせ先 :

日中経済協会北京事務所・岩永 (iwanaga@postbj.net)、澤津 (saw@postbj.net)

中国日本商会・渡辺 (watanabe_taiichi@postbj.net)